

令和7年度 シラバス(外国語)

学番10 新潟県立新潟向陽高等学校

| | | | | | |
|--------|---|-----|------|----|------|
| 教科(科目) | 外国語(英語コミュニケーションⅠ) | 単位数 | 3 単位 | 年次 | 1 年次 |
| 使用教科書 | 東京書籍『Power On English Communication Ⅰ』 | | | | |
| 副教材等 | 東京書籍『Power On English Communication Ⅰ スタディノート』 東京書籍『FAVORITE 英和辞典』 | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|---|
| グラデュエーション・ポリシー | <p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①自ら学び、自ら考え、主体的に物事に取り組む力を育成します。</p> <p>②様々な人とコミュニケーションを図り、自他を理解・尊重する心を育成します。</p> <p>③自己の進路希望を実現できる確かな学力と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる力を育成します。</p> |
| カリキュラム・ポリシー | <p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①多様な選択科目を設定し、得意分野の力を伸ばし、主体的に学ぶ意欲を高める授業を展開します。</p> <p>②積極的なICTの活用や探究的な学びをとおして、思考力、自己表現力、発想力を育む授業を展開します。</p> <p>③学校行事、部活動、生徒会活動や外部と連携した学習活動をとおして、自己や他者を理解したり、社会的な課題や問題を知る機会を充実させたりします。</p> |

2 学習目標

| |
|--|
| <p>英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、英語の知識を実際のコミュニケーションに応じて、適切に活用できる能力及び目的や場面、状況などに応じて表現したり伝え合ったりする能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、自主的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育成する。</p> <p>【聞くこと】</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>【読むこと】</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>【話すこと[やり取り]】</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>【話すこと[発表]】</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>【書くこと】</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> |
|--|

3 指導の重点

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり読んだりしたことについて、概要や要点を捉えさせる。 ・情報や考えなどを表現したり、伝え合ったりする活動に主体的に取り組ませる。 ・音声、語彙、表現、文法の理解を深める。 |
|---|

4 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる能力を身につけている。 | 目的や場面、状況などに応じて、日常的、社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、発信者の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

5 評価方法

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|---|--|--|
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・小テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト | <ul style="list-style-type: none"> ・課題の取り組み ・授業内での発言、活動の取り組み ・パフォーマンステストの取り組み |

6 学習計画

| 月 | 単元名 | 時数 | 学習活動（指導内容） | 評価方法 |
|--------------|---|------------------|---|---|
| 4 5 6 | Pre-Lesson 1-5 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 | 2 6 8 8 | 語順の違い、自動詞と他動詞、名詞のかたまり、説明を加えることば、文構造 ・体験型ツーリズムについて ・生き物の光る理由やその医療研究について ・スポーツクライマー野口選手のインタビュー | 課題（スタディノート、音読） 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト |
| | 前期中間考査 | 1 | | 定期考査 |
| 6 7 | Paragraph Writing 1 Lesson 4 Lesson 5 | 4 8 8 | パラグラフの構成 ・日本の漫画の形式やその翻訳について ・バナナの茎から作られるバナナペーパーについて | 課題（スタディノート、音読） 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト |
| 8 | 夏季休業 | | | 課題 |
| 8 9 | Summer Reading | 7 | ・説明する，理由を述べる，共感する | 課題（音読、ワークシート） |
| | 前期期末考査 | 1 | | 定期考査 |
| 10 11 | Lesson 6 Lesson 7 Paragraph Writing 2 | 10 10 4 | ・人間の行動パターンに関する実験について ・プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文 つながりを示す語句 | 課題（スタディノート、音読） 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト |
| | 後期中間考査 | 1 | | 定期考査 |
| 12 1 2 | Lesson 8 Lesson 9 Paragraph Writing 2 Optional Reading | 9 9 2 4 | ・フィッシュ&チップスの歴史と食料資源について ・e スポーツについて つながりを示す語句 ・手紙 | 課題（スタディノート、音読） 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト |
| | 年度末考査 | 1 | | 定期考査 |
| 3 | Lesson 10 | 2 | ・写真家ヨシナギさんに関する雑誌記事 | 課題（スタディノート、音読） 活動の取り組み |

計 105 時間（50 分授業）

7 観点別評価を総括して評価する際の比率

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|----------|---------------|
| 45%程度 | 35%程度 | 20%程度 |

8 課題・提出物等

| |
|---|
| 課題 スタディノート ワークシート 音読活動など 長期休業中の課題（別途指示） |
|---|

9 担当者から一言

| |
|--|
| ペアワークやグループワークなどを通じて英語を実際に使う場面を設定しますので、間違いを恐れずしっかりと取り組んでください。 |
|--|